

LUCIA
CARTELES CUBANOS
DE CINE★
展覧会

キューバの映画ポスター

竹尾ポスターコレクションより



2016.1.7(木) - 3.27(日)

月曜日は休室です。

★ UN FILM CUBANO DE HUMBERTO SOLAS ★
CON RAQUEL REVUELTA ★ ESLINDA NUÑEZ ★ ADELA LEGRA ★

『ルシア』(1968年/キューバ/ウンベルト・ソラス監督) ポスター: ラウル・マルチネス(1968年) ①

東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室(7階)

開室時間: 午前11時 - 午後6時30分(入場は午後6時まで)

料金: 一般210円(100円)/大学生・シニア70円(40円)/高校生以下及び18歳未満、障害者(付添者は原則1名まで)、MOMATバスポートをお持ちの方、キャンパスメンバーズは無料

料金は常設の「日本映画の歴史」の入場料を含みます。()内は20名以上の団体料金です。*学生、シニア(65歳以上)、障害者、キャンパスメンバーズの方はそれぞれ入室の際、証明できるものを提示ください。

*フィルムセンターの上映企画をご覧になった方は当日限り、半券のご提示により団体料金が適用されます。

主催: 東京国立近代美術館フィルムセンター、京都国立近代美術館 後援: 駐日キューバ共和国大使館 協力: 株式会社竹尾、多摩美術大学

東京国立近代美術館ホームページ <http://www.momat.go.jp/>



映画ポスターの楽園へ。

カリブの島国キューバが、映画ポスターの国でもあることをご存じでしょうか？

魅力的な音楽やダンスで常に注目を浴びるキューバは、1959年の革命以降、国立の映画芸術産業庁(ICAIC)を拠点に次々と先鋭的な映画を送り出してきた「小さな映画大国」でもあります。新ラテンアメリカ映画祭の開催でも知られる首都ハバナは、ラテンアメリカ映画の中心地のひとつとなっています。

そのキューバは、映画の宣伝においても“革命的”な手法を取り入れました。映画ポスターのグラフィックに様々なデザイナーや画家を招き、その製作を大量印刷向けのオフセットではなく手刷りのシルクスクリーン技術で行うという独自性は、一国の映画産業の方針として

世界の他のどこにも見られないものです。エドゥアルド・ムニョス・パッチ、レネ・アスクイ・カルデナス、アントニオ・フェルナンデス・レボイコをはじめとする作家たちが、映画作品からの刺激を通じて生み出した豊かな色合いと華やかな表現は、映画に新たな価値を与えるとともに、それ自体が鮮烈な作品となっています。

この展覧会では、フィルムセンターと京都国立近代美術館の共催により、多摩美術大学に寄託されている竹尾ポスターコレクション所蔵作品を中心に、革命期から1990年前後までに制作された85点の映画ポスターを紹介しします。キューバ映画はもちろん、盛んに輸入された外国映画のポスターにも焦点を当て、知られざる「映画ポスターの楽園」に皆様を誘います。

また、1月16日から2月28日までの土・日曜には関連上映企画「キューバ映画特集 革命映画から映画革命へ」を開催します。併せてお楽しみください。



- 1 『怒りのキューバ』(1964年/キューバ・ソ連/ミハイル・カラトゾフ監督) ポスター:レネ・ポルトカレーロ(1964年) ②
- 2 『ファン・キンギンの冒険』(1967年/キューバ/アリオ・ガルシア・エスピノーサ監督) ポスター:エドゥアルド・ムニョス・パッチ(1967年) ①
- 3 『低開発の記憶』(1968年/キューバ/トマス・グティエレス・アレア監督) ポスター:アントニオ・サウラ(1968年) ①
- 4 『テラサの肖像』(1979年/キューバ/バスター・ペガ監督) ポスター:セルバン・カブレラ・モレノ(1979年) ②
- 5 『チェ、友なる司令官』(1977年/キューバ/ベルナベ・エルナンデス監督) ポスター:アントニオ・フェルナンデス・レボイコ(1978年) ②
- 6 『座頭市凶状旅』(1963年/日本/田中徳三監督) ポスター:アルフレド・ゴンサレス・ロストガルド(1968年) ①
- 7 『少年』(1969年/日本/大島渚監督) ポスター:レネ・アスクイ・カルデナス(1976年) ①
- 8 『カメラを持った男』(1929年/ソ連/ジグ・ヴェルトフ監督) ポスター:アントニオ・ベレス・ゴンサレス[ニコ](1977年) ①
- 9 『白鯊』(1956年/アメリカ/ジョン・ヒューストン監督) ポスター:アントニオ・フェルナンデス・レボイコ(1968年) ①
- 10 『三銃士』(1973年/イタリア/エリク・リチャード・レスター監督) ポスター:エドゥアルド・ムニョス・パッチ(1976年) ①
- 11 『カラスの飼育』(1976年/スペイン/カルロス・サウラ監督) ポスター:エドゥアルド・ムニョス・パッチ(1977年) ①
- 12 シネマテカ・デ・キューバ【キューバ国立映画保存所】ポスター:ラファエル・モランテ・ボエリ(1961年) ①

①: 竹尾ポスターコレクション所蔵 ②: フィルムセンター所蔵

展覧会の構成

- 第1章 キューバ映画のポスター
- 第2章 世界各国の映画のポスター
※日本映画のポスター8点を含む
- 第3章 キューバの映画界から

トークイベント

- 1月16日② キューバの映画情勢とポスター
岡田秀則(フィルムセンター主任研究員)×寺島佐知子(キューバ映画研究者)
- 2月6日② キューバ映画の過去と現在
比嘉セツ(映画配給会社Action Inc.代表)×太田昌国(ラテンアメリカ現代史研究家)
- 3月5日② キューバのドキュメンタリー映画
濱治佳(山形国際ドキュメンタリー映画祭東京事務局長)
- 3月26日② 展示品解説 フィルムセンター研究員が展示品を解説いたします。

*詳細は後日ホームページなどでお知らせいたします。

関連上映企画

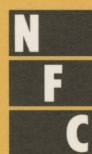
キューバ映画特集

革命映画から映画革命へ

1月16日②～2月28日②

*土曜日・日曜日のみ上映
*詳細は該当チラシをご覧ください。

巡回先 2016年6月1日②～7月24日② 京都国立近代美術館(4階コレクション・ギャラリー)



東京国立近代美術館フィルムセンター
National Film Center
The National Museum of Modern Art, Tokyo



〒104-0031 東京都中央区京橋 3-7-6
お問い合わせ: ハローダイヤル 03-5777-8600
東京国立近代美術館ホームページ
<http://www.momat.go.jp/>

交通

東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分
都営地下鉄浅草線本町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分
東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

